

亀山東小だより

令和7年6月20日(金)
亀山市立亀山東小学校
亀山市本町一丁目9番9号
TEL:82-0011 No.4
(文責:校長 加藤 元由)

スポーツ・デイを終えて

5月27日(火)および29日(木)に、亀山東小学校スポーツ・デイを実施しました。本来であれば、1日で終わる日程でしたが、午後に雨が降ったため、高学年の部を延期させていただきました。

延期によって、せっかくお越しいただいた保護者や地域の方々には、たいへん申し訳ないことをしてしまいました。当初は「表現活動だけでも」と考えたのですが、雨が予想以上に強くなってきたこと、雨雲が次々に流入することが観測され、やみ間が期待できないこと、表現活動の最初が地面に寝た姿勢から始まるのに、すでに土が水を吸った状態で、水たまりもできていること、組体操を含む表現であり、濡れることで児童に危険が及ぶこと等を鑑みると、とても続行させることはできませんでした。



児童のなかには、表現活動の発表に気持ちをこめるあまり、泣いて悔しがった子もいました。それだけ、真剣に練習に取り組んできたからなのでしょう。

でも、木曜に実施するにあたり、他学年もみんなが発表を見られるように設定したこともあって、高学年児童は、じゅうぶんな達成感を得られたようでした。

2日間のスポーツ・デイで、1年生から6年生までそれぞれが、かわいらしさ、ひたむ

きさ、団結力、真剣に応援する姿勢など、さまざまな姿を見せてくれました。練習したことが結果として実を結ぶことを学び、みんなでひとつのことに取り組む喜びを知ったことは、きっと児童にとって、これからの生き方に良い影響があると信じています。

体操服の洗濯や諸準備等、支えていただいた保護者の皆さま、見守っていただいた地域の皆さま、当日お越しいただいた来賓の皆さま、ほんとうにありがとうございました。



プール水泳

「梅雨のなかやすみ」という言葉がありますが、それどころか、もう真夏のような、たいへん暑い日が続いています。

亀山東小学校では、6年生によるプール清掃、PTA奉仕作業、業者清掃を経まして、今年もプール水泳を実施できています。

市内には、プール水泳が業務委託に移行された学校もありますが、本校は、そうになっていませんので、安全にプール水泳を実施するため、日々、職員が水質管理にあたっています。熱中症防止の観点から、見学についても別室を設け、指導や見守り以外にも職員を割り当てています。設備や機器の老朽化もあって、職員にとってはなかなか負担が大きいのですが、子どもたちの歓声が響くプール水泳は、なかなかほかにはかえがたいものです。

一部報道では、プール水泳の中止により、泳げない子どもが増えていると言われています。また、1955年の紫雲丸沈没事故をきっかけに、「命を守る教育」として、学校での水泳が強化されたという説があります。プール水泳は「楽しいもの」とであると同時に、「いざというときに命を守るもの」と捉え、学年に応じて、水に慣れ親しむところから、段階的に指導を進めていきます。



立ち止まれる子に

前号では、「安全な登下校を」という記事で、道路の横断や交差点での安全確認について、書かせていただきました。

ところが先日、「児童が鹿島橋の欄干（手すり）にのぼったり、身を乗り出したりしている」という情報をいただきました。学校では、各教室での指導、呼びかけに加えて、パトロールや現地での観察および指導といった対策をとりました。また、学校ホームページや「つながる連絡」を用いて、ご家庭にも注意喚起のお願いをさせていただきました。現地で声をかけていたとき、幸い、何人かの子が「自分がやった」と申し出てくれました。でも、ほかにも同様の行為をした子がいたかもしれませんし、別の場所で危険な行為がなかったとは言えません。ハード面の対応はこれから相談していきませんが、ソフト面、つまり「自ら行動の危険性を感じて、立ち止まることができる」ように児童を指導しなければ根本的な解決にはならないでしょう。それは、学校だけでは難しいです。子どもたちの命を守るため。ご家庭や地域の方々のご協力をお願いします。

亀山東小学校のホームページでは、日々の子どもたちの教育活動や学校の様子を随時更新中です。ご覧いただけると幸いです。 <http://www.kameyama-mie.jp/kblog/higashi/> モバイル版QRコード→

